給食だより

令和４年度　１１月号　Ｎｏ．８

「絵本から飛び出したおやつ」

～あらすじ～

くりのきえんに、５歳になるお友達がいます。みんな大きくなったので、洋服が窮屈になりました。それで、わんすけくんのボタンが飛んでいき、そのボタンがみんなのお父さんとお母さんの夢の中に入って、何かを伝えていくお話です。

１１月１５日は、七五三です。七五三は、千歳飴を食べて祝う事で、千歳飴には、親が自らの子に長寿の願いを込めているため細くなっており、縁起が良い物とされています。保育園の方でも以前は、千歳飴を渡していましたが、おやつでお祝いが出来ないかと考え、千歳飴の由来を元に“紅白の春巻きスティック”を作り、さらに七五三にまつわる絵本を読んでもらいお祝いしています。

紅白の春巻きスティックは、紅色の方をコンソメ味で春雨と人参を炒めた物、白色の方は、スイートポテト味のサツマイモ餡で表現しました。このおやつは、年に一度でもあり子どもたちは、とても大好きで人気のあるおやつです。

～親子みそ作りに挑戦！～

１１月１２日（土）に年長児は、茶道教室の発表と親子で味噌づくりを行いました。

味噌の材料は、給食で使用している味噌加工所から、茹でた大豆と塩麹を仕入れて作ります。始めに茹でた大豆を手で潰し、滑らかくなったら塩麹を入れて手のひらを使って混ぜ合わせていきます。この作業は、力がいる作業でもあり保護者の方は、「結構力仕事ですね。」と言いながら、均一に混ぜ合わせてもらい、最後はボールのように丸くしてから桶に入れていきました。保護者の中でも、初めて味噌作りを体験され「こうやって、味噌って作るんですね。」と感激された方もいらっしゃいました。

～今月の食育の様子～

今月は、先月製作した食材の絵と釣り竿を使い、食材釣りゲームを行いました。ルールは、クイズの答えを食材の中から探し釣っていきます。答えが分かりすぐに釣り上げる子もいれば、分かっていても釣るのが難しい子もいたりと、みんな真剣な顔で釣り竿の針を見ながら集中して取り組んでいました。釣り上げた時は、大喜びで友達や職員に見せていました。この作品は、持ち帰りますのでご家族で遊んでみて下さい。